



コロナ禍がもたらしたリリーフ体制構築の効果

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
大阪府済生会千里病院

大阪府吹田市
333床／職員数 926名（うち看護職員数399名）



課題・背景

①従来の非体系的な看護職員リリーフ体制

○急な休みが発生した場合には副看護部長が個別に対応するという非体系的な運用方法

②コロナ患者の受け入れ開始による混乱

○新型コロナウイルス感染症専門病棟（以下、コロナ病棟）では24時間患者の受け入れ体制を確保するため7対1基準を大きく上回る看護職員配置を行っていた

しかし、繁閑格差がたびたび発生するため、人員の適正配置と人材育成に苦労した

③有給休暇取得率の部署間格差

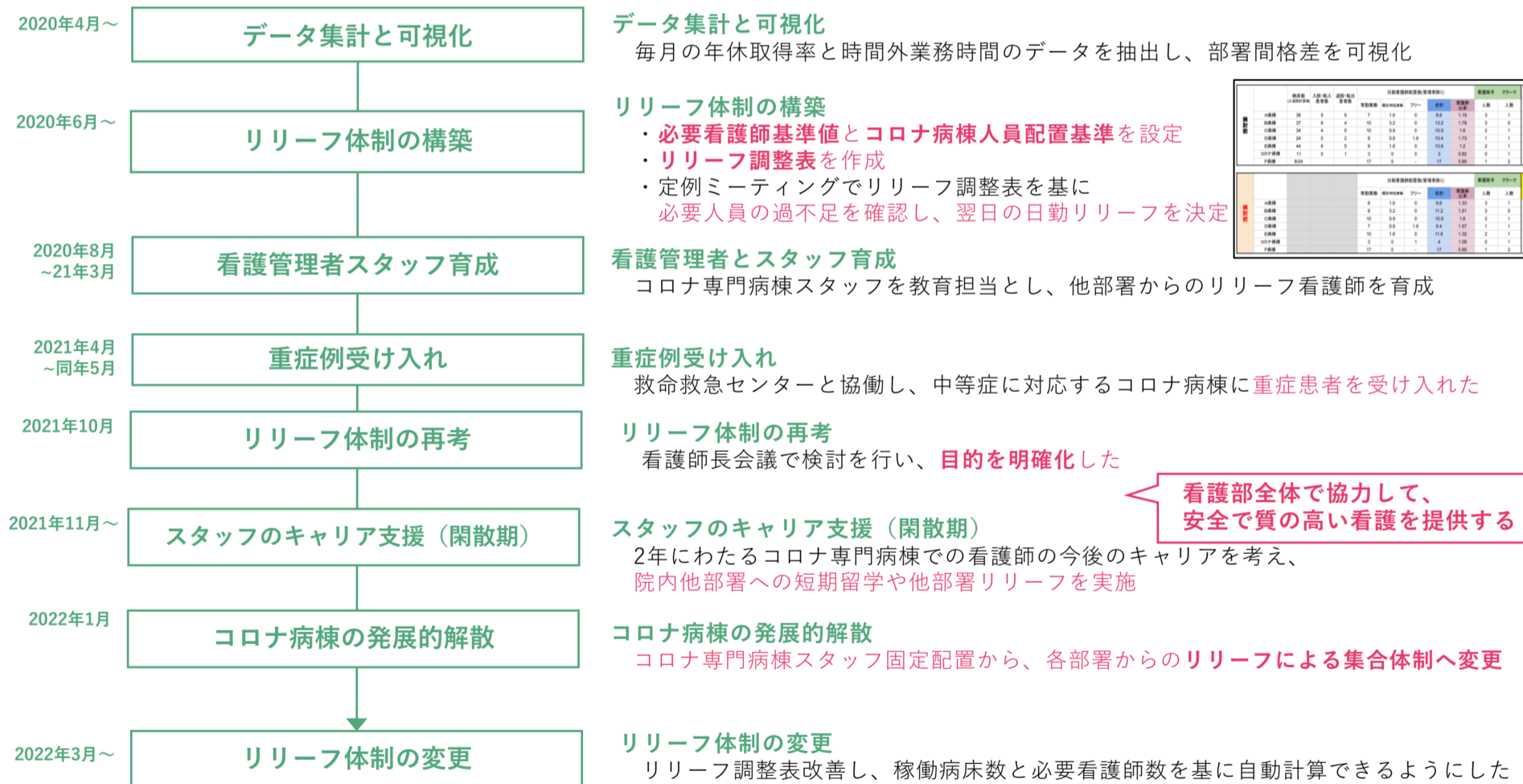
○病棟間の取得率格差 | 最大値【62.1%】 最小値【48.6%】 : **最大格差は13.5%あった**

○看護師1人あたりの取得日数格差 | 中央値最大値【12.3日】 中央値最小値【8.5日】 : **最大格差は3.8日あった**

目的・目標

24時間新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる体制と
通常診療を両立させるためのリリーフ体制を確立する

取り組み内容



成果・効果

①体系的なリリーフ体制構築の実現

○定例ミーティングでリリーフ調整表を用いて日勤リリーフを決定

②有給休暇取得状況の改善

○有給休暇取得率の上昇・部署間格差の改善

	年次有給休暇取得率 (平均)	年次有給休暇取得率の部署間格差	
		最小値～最大値	中央値
2020年度	48.6%	36.3%～70.3%	55.2%
2021年度	55.3%	48.6%～74.0%	55.8%

③時間外業務時間の削減

○一人あたりの月平均時間外勤務時間数の削減

	月平均一人当たり 時間外勤務時間数	一般病棟看護師 時間外勤務時間（総計）
2020年度	10時間34分	32,801時間
2021年度	9時間33分	29,153時間

④人件費の削減

○看護師の時給を2,000円で試算した場合 **年間660万円の削減**

⑤看護職員アセスメント力・感染対策スキルの向上

○中等症コロナ患者のケアを経験した看護職員の増加

47名(2020年度) ▶ 160名(2021年度)

▶ コロナ病棟やICUにおけるコロナ重症患者に対する看護の経験から
呼吸器関連のアセスメント力や感染対策スキルが向上